



縄文時代の学習

(1)本時のねらい(2時間扱い)

身近な地域の縄文遺跡を知り、当時の人々の生活を考える活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で日本の歴史を理解する。

さいたま市の地図を使い、さいたま市の地形と縄文遺跡の関連性を考えさせるとともに、地図の見かた、活用の仕方を再認識する。

私達が歴史を学ぶことができるのは、遺跡調査員の方々の存在なくして語れないことに気づき、遺跡調査員のやりがい、苦労を知る。

(2)展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導入	<p>< 第1時 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 縄文土器の破片を触り、(教室の四隅)この土器が作られた時代について、既得の知識を発表し合う。 縄文時代の名前の由来を説明する。 本時のテーマに対し、各自予想をノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 縄文土器の破片は、さいたま市立博物館から借りてくる。 多くの生徒にテンポ良く発表させる。 縄と粘土を用意する。(博物館から借りる) 	<p>縄文土器 (破片・レプリカのもの)</p> <p>縄 粘土</p>
展開	<p>『縄文時代の人々は、どんな暮らしをしていたのか?』 ～ さいたま市の縄文遺跡から生活の様子を考えよう! ～</p> <ul style="list-style-type: none"> さいたま市の2万5千分の1の地図プリントを使い、作業する。 地図中10mの等高線を赤でなぞる。縄文時代の遺跡の分布に青でしるしをつける。標高10m以上の土地に色鉛筆で色を付ける。 ～の作業でわかったこと(10mの等高線と縄文遺跡の関係など)をノートに書き、班で話し合い、発表する。 自分たちの学校が標高10m以上か以下かを知る。 作業の中で貝塚の存在に気付く。 ※『貝塚とは何だろう?、貝塚から何がわかるのだろう?』を考える。 映像と地図を見ながら、自分の住んでいる区にも貝塚があることを知る。(例 大戸貝塚など) 貝塚出土の貝を提示し、理解を深める。 貝塚復元遺跡である「水子貝塚・資料館」の映像を見て、貝塚それ自体や、貝塚からわかることをノー 	<ul style="list-style-type: none"> 各自でたてた予想が正しいか、さいたま市遺跡の資料を使って検証する授業を行う。授業に明確な目的を持たせる。 プリントには、10mの等高線と遺跡の印をつけておく。 班の話し合いは、ルールに従って、班長中心に行わせる。 さいたま市の地図中、10m以上の土地に縄文遺跡(貝塚)がある理由を説明できるようにする。 水子貝塚の様子から、縄文時代の人々の生活の様子を多角的に考察できる。(理解・思考) 	<p>さいたま市の地図 プリント</p> <p>貝塚出土の貝</p> <p>【映像】 大戸貝塚 水子貝塚 +資料館</p>

<p>トに書く。</p> <p>例 貝だけでなく、骨や土器など出ている。 貝塚が村の外側に円を描くようにある。 昔さいたま市の低地は、海の底であった。</p> <p>・遺跡の出土品（物質資料）から当時の生活がわかることを理解し、遺跡について考える。</p> <p>発 『どのように遺跡を調査しているのかな？』</p> <p>映像により、大間木にある「水深西遺跡」（縄文遺跡）の発掘の様子を知る。 さいたま市遺跡調査員の方々のやりがい、苦労などを考える。</p> <p>ま と め</p> <p>・発掘の様子で分かったことをノートに書き、遺跡調査員の方々への質問を考え、班でまとめる。</p> <p>その質問を持ってクラスの代表者が、放課後「土器の館」を訪れ、クラスから出された質問をする。</p>	<p>・多くの方々の努力によって歴史が明らかにされてきたことを理解させる。</p> <p>・教師が事前にアポイントを取っておき、訪問当日も付き添いで行く。（土器の館、山田先生他）</p> <p>・聞き取り調査の方法など、代表者には事前に指導しておく。</p> <p>・質疑応答の様子は、映像資料として授業で使う。</p>	<p>【映像】 水深西遺跡 土器の館</p>
<p>導 入</p> <p>展 開</p>	<p>< 第2時 ></p> <p>・クラスの代表者が行ってきた、「遺跡調査に関する質疑応答」のビデオを見て、発掘についての理解を更に深める。</p> <p>・見終わった後に、わかったこと、考えたことを書く。</p> <p>・年表で縄文時代の様子をとらえる。</p> <p>・地名が出てくる度に、さいたま市の地図で確認する。</p> <p>・実際に、発掘によって明らかになった村から、縄文時代の様子を考える。</p> <p>【テーマ】『馬場小室山遺跡の出土品から縄文時代の人々の生活を知ろう！』</p> <p>・写真、映像、黒板の資料から出土品を知り、それぞれについて、どのように、何のために使われたのか、どんな生活をしていたのか、を考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>< 出土例 ></p> <p>石鏃...狩り 土錘、石錘...網を使つての漁労 打製石斧...土掘り用</p> <p>→ 土壌...竪穴住居の深い穴 ⇒ 集落の形成、移住から定住</p>	<p>・改めて、発掘によって出土した物質資料から当時の生活がわかることを確認する。</p> <p>・「私達の歴史学習が多くの方々の努力によって成り立っている」ことを実感させる。</p> <p>・遺跡が三室中学校の隣にあることを知らせる。</p> <p>・「 の出土品からこれが に使われ、 のような生活を送っていたと考えられる。」とまとめさせる。</p> <p>・ものの考え方、表現の仕方の基礎を習得させ、他の時代の学習でも、活用できるように丁寧に指導する。</p> <p>【映像】 遺跡調査に関する 質疑応答</p> <p>【映像】 馬場小室山遺跡 遺跡の模 型</p>

